

アモス書

1

2

3

4

5

6

7

8

9

第1章

テ コアの牧者のひとりであるアモスの言葉。これはユダの王ウジヤの世、イスラエルの王ヨアシの子ヤラベアムの世、地震の二年前に、彼がイスラエルについて示されたものである。

² 彼は言った、「主はシオンからほえ、エルサレムから声を出される。牧者の牧場は嘆き、カルメルの頂は枯れる」。

³ 主はこう言われる、「ダマスコの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが鉄のすり板で、ギレアデを踏みにじったからである。

⁴ わたしはハザエルの家に火を送り、ベネハダデのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。

⁵ わたしはダマスコの貫の木を砕き、アベンの谷から住民を断ち、ベテエデンから王のつえをとる者を断つ。スリヤの民はキルに捕えられて行く」と主は言われる。

⁶ 主はこう言われる、「ガザの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが人々をことごとく捕えて行って、エドムに渡したからである。

⁷ わたしはガザの石がきに火を送り、そのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。

⁸ わたしはアシドドから住民を断ち、アシケロンから王のつえをとる者を断つ。わたしはまた手をかえしてエクロンを撃つ。そして残ったペリシテびとも滅びる」と主なる神は言われる。

⁹ 主はこう言われる、「ツロの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが人々をことごとくエドムに渡し、また兄弟の契約を心に留めなかったからである。

¹⁰ それゆえ、わたしはツロの石がきに火を送り、そのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす」。

¹¹ 主はこう言われる、「エドムの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼がつるぎをもってその兄弟を追い、全くあわれみの情を断ち、常に怒って、人をかき裂き、ながくその憤りを保ったからである。

¹² それゆえ、わたしはテマンに火を送り、ボズラのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす」。

¹³ 主はこう言われる、「アンモンの人々の三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らがその国境を広げるために、ギレアデのはらんでいる女をひき裂いたからである。

¹⁴ それゆえ、わたしはラバの石がきに火をはなち、そのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。これは戦いの日に、ときの声をもってせられ、つむじ風の日に、暴風をもってせられる。

¹⁵ 彼らの王はそのつかさたちと共に捕えられて行く」と主は言われる。

第2章

主はこう言われる、「モアブの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼がエドムの王の骨を焼いて / 灰にしたからである。

² それゆえ、わたしはモアブに火を送り、ケリオテのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。モアブは騒ぎと、ときの声と、ラッパの音の中に死ぬ。

³ わたしはそのうちから、支配者を断ち、そのすべてのつかさを彼と共に殺す」と / 主は言われる。

⁴ 主はこう言われる、「ユダの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが主の律法を捨て、その定めを守らず、その先祖たちが従い歩いた / 偽りの物に惑わされたからである。

⁵ それゆえ、わたしはユダに火を送り、エルサレムのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす」。

⁶ 主はこう言われる、「イスラエルの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが正しい者を金のために売り、貧しい者をくつ一足のために売るからである。

⁷ 彼らは弱い者の頭を地のちりに踏みつけ、苦しむ者の道をまげ、また父子ともにひとりの女のところへ行って、わが聖なる名を汚す。

⁸ 彼らはすべての祭壇のかたわらに / 質に取った衣服を敷いて、その上に伏し、罰金をもって得た酒を、その神の家で飲む。

⁹ さきにわたしはアモリびとを / 彼らの前から滅ぼした。これはその高きこと、香柏のごとく、その強きこと、かしの木のもようであったが、わたしはその上の実と、下の根とを滅ぼした。

¹⁰ わたしはまた、あなたがたを / エジプトの地から連れ上り、四十年のあいだ荒野で、あなたがたを導き、アモリびとの地を獲させた。

¹¹ わたしはあなたがたの子らのうちから / 預言者を起し、あなたがたの若者のうちからナジルびとを起した。イスラエルの人々よ、そうではないか」と / 主は言われる。

¹² 「ところがあなたがたはナジルびとに酒を飲ませ、預言者に命じて『預言するな』と言う。

¹³ 見よ、わたしは麦束をいっぱい積んだ車が / 物を圧するように、あなたがたをその所で圧する。

¹⁴ 速く走る者も逃げ場を失い、強い者もその力をふるうことができず、勇士もその命を救うことができない。

¹⁵ 弓をとる者も立つことができず、足早の者も自分を救うことができず、馬に乗る者もその命を救うことができない。

¹⁶ 勇士のうちの雄々しい心の者も / その日には裸で逃げる」と / 主は言われる。

第3章

イ スラエルの人々よ、主があなたがたに向かって言われたこと、わたしがエジプトの地から導き上った / 全家に向かって言ったこの言葉を聞け。

² 「地のもろもろのやからのうちで、わたしはただ、あなたがただけを知った。それゆえ、わたしはあなたがたの / もろもろの罪のため、あなたがたを罰する。

³ ふたりの者がもし約束しなかったなら、一緒に歩くだろうか。

⁴ ししがもし獲物がなかったなら、林の中でほえるだろうか。若いししがもし物をつかまなかったなら、その穴から声を出すだろうか。

⁵ もしわながなかったなら、鳥は地に張った網にかかるだろうか。網にもし何もかからな

かったなら、地からとびあがるだろうか。

⁶ 町でラッパが鳴ったなら、民は驚かないだろうか。主がなされるのでなければ、町に災が起るだろうか。

⁷ まことに主なる神は / そのしもべである預言者にその隠れた事を / 示さないでは、何事をもなされない。

⁸ ししがほえる、だれが恐れないでいられよう。主なる神が語られる、だれが預言しないでいられよう」。

⁹ アッスリヤにあるもろもろの宮殿、エジプトの地にあるもろもろの宮殿に宣べて言え、「サマリヤの山々に集まり、そのうちにある大いなる騒ぎと、その中で行われる暴虐とを見よ」と。

¹⁰ 主は言われる、「彼らは正義を行うことを知らず、しえたげ取った物と奪い取った物とを / そのもろもろの宮殿にたくわえている」。

¹¹ それゆえ主なる神はこう言われる、「敵がきて、この国を囲み、あなたの防備をあなたから取り除き、あなたのもろもろの宮殿はかすめられる」。

¹² 主はこう言われる、「羊飼がししの口から、羊の両足、あるいは片耳を取り返すように、サマリヤに住むイスラエルの人々も、長いすのすみや、寝台の一部を携えて救われるであろう」。

¹³ 万軍の神、主なる神は言われる、「聞け、そしてヤコブの家に証言せよ。

¹⁴ わたしはイスラエルのもろもろのとがを罰する日に / ベテルの祭壇を罰する。その祭壇の角は折れて、地に落ちる。

¹⁵ わたしはまた冬の家と夏の家とを撃つ、象牙の家は滅び、大いなる家は消えうせる」と / 主は言われる。

第4章

「**バ**シャンの雌牛どもよ、この言葉を聞け。あなたがたはサマリヤの山におり、弱い者をしえたげ、貧しい者を圧迫し、またその主人に向かって、『持ってきて、わたしたちに飲ませよ』と言う。

² 主なる神はご自分の聖なることによって誓われた、見よ、あなたがたの上にこのような時が来る。その時、人々はあなたがたをつり針にかけ、あなたがたの残りの者を / 魚つり針にかけて引いて行く。

³ あなたがたはおのおのまっすぐに / 石がきの破れた所を出て、ハルモンに追いやられる」と / 主は言われる。

⁴ 「あなたがたはベテルへ行って罪を犯し、ギルガルへ行って、とがを増し加えよ。朝ごとに、あなたがたの犠牲を携えて行け、三日ごとに、あなたがたの十分の一を携えて行け。

⁵ 種を入れたパンの感謝祭をささげ、心よりの供え物をふれ示せ。イスラエルの人々よ、あなたがたはこのようにするのを好んでいる」と / 主なる神は言われる。

⁶ 「わたしはまた、あなたがたのすべての町で / あなたがたの歯を清くし、あなたがたのすべての所でパンを乏しくした。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と / 主は言われる。

⁷ 「わたしはまた、刈入れまでなお三月あるのに / 雨をとどめて、あなたがたの上にくださず、この町には雨を降らし、かの町には雨を降さず、この畑は雨をえ、かの畑は雨をえないで枯れた。

⁸ そこで二つ三つの町が / 一つの町によろめいて行って、水を飲んでも、飽くことができなかった。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と / 主は言われる。

- 9 「わたしは立ち枯れと腐り穂とをもって / あなたがたを撃ち、あなたがたの園と、ぶどう畑とを荒した。いちじくの木とオリーブの木とは、いなごが食った。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と / 主は言われる。
- 10 「わたしはエジプトにしたように / あなたがたのうちに疫病を送り、つるぎをもってあなたがたの若者を殺し、あなたがたの馬を奪い去り、あなたがたの宿営の臭気を上らせて、あなたがたの鼻をつかせた。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と / 主は言われる。
- 11 「わたしはあなたがたのうちの町を / 神がソドムとゴモラを滅ぼされた時のように / 滅ぼしたので、あなたがたは炎の中から取り出された / 燃えさしのようであった。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と / 主は言われる。
- 12 「それゆえイスラエルよ、わたしはこのようにあなたに行く。わたしはこれを行うゆえ、イスラエルよ、あなたの神に会う備えをせよ」。
- 13 見よ、彼は山を造り、風を創造し、人にその思いのいかなるかを示し、また、あけぼのを変えて暗やみとなし、地の高い所を踏まれる者、その名を万軍の神、主と言う。

第 5 章

- 1 **イ** スラエルの家よ、わたしが悲しみの歌をもって、あなたがたについて宣べるこの言葉を聞け、
- 2 「おとめイスラエルは倒れて、また起き上がらず、彼女はおのれの地に投げ倒されて / これを起す者がない」。
- 3 主なる神はこう言われる、「イスラエルの家では、千人出た町は百人残り、百人出た町は十人残る」。
- 4 主はイスラエルの家にこう言われる、「あなたがたはわたしを求めよ、そして生きよ。
- 5 ベテルを求めるな、ギルガルに行くな。ベエルシバにおもむくな。ギルガルは必ず捕えられて行き、ベテルは無に帰するからである」。
- 6 あなたがたは主を求めよ、そして生きよ。さもないと主は火のように / ヨセフの家に落ち下られる。火はこれを焼くが、ベテルのためにこれを消す者はひとりもない。
- 7 あなたがた、公道をにがよもぎに変え、正義を地に投げ捨てる者よ。
- 8 プレアデスおよびオリオンを造り、暗黒を朝に変じ、昼を暗くして夜となし、海の水を呼んで、地のおもてに注がれる者、その名は主という。
- 9 主は滅びをたちまち強い者に臨ませられるので、滅びはついに城に臨む。
- 10 彼らは門にいて戒める者を憎み、真実を語る者を忌みきらう。
- 11 あなたがたは貧しい者を踏みつけ、彼から麦の贈り物をとるゆえ、あなたがたは切り石の家を建てても、その中に住むことはできない。美しいぶどう畑を作っても、その酒を飲むことはできない。
- 12 わたしは知る、あなたがたのとがが多く、あなたがたの罪は大きいからである。あなたがたは正しい者をしえたげ、まいないを取り、門で貧しい者を退ける。
- 13 それゆえ、このような時には賢い者は沈黙する、これは悪い時だからである。
- 14 善を求めよ、悪を求めるな。そうすればあなたがたは生きることができる。またあなたがたが言うように、万軍の神、主はあなたがたと共におられる。
- 15 悪を憎み、善を愛し、門で公義を立てよ。万軍の神、主は、あるいは / ヨセフの残りの者をあわれまれるであろう。
- 16 それゆえ、主なる万軍の神、主はこう言われる、「すべての広場で泣くことがあるう。すべてのちまたで人々は / 『悲しいかな、悲しいかな』と言う。また彼らは農夫を呼んできて嘆かせ、巧みな泣き女を招いて泣かせ、

- 17 またすべてのぶどう畑にも泣くことがあろう。それはわたしがあなたがたの中を／通るからである」と主は言われる。
- 18 わざわいなるかな、主の日を望む者よ、あなたがたは何ゆえ主の日を望むのか。これは暗くて光がない。
- 19 人がししの前を逃れてもくまに出会い、また家には行って、手を壁につけると、へびにかまれるようなものである。
- 20 主の日は暗くて、光がなく、薄暗くて輝きがないではないか。
- 21 わたしはあなたがたの祭を憎み、かつ卑しめる。わたしはまた、あなたがたの聖会を喜ばない。
- 22 たといあなたがたは燔祭や素祭をささげても、わたしはこれを受けいれない。あなたがたの肥えた獣の酬恩祭は／わたしはこれを顧みない。
- 23 あなたがたの歌の騒がしい音を／わたしの前から断て。あなたがたの琴の音は、わたしはこれを聞かない。
- 24 公道を水のように、正義をつきない川のように流れさせよ。
- 25 「イスラエルの家よ、あなたがたは四十年の間、荒野でわたしに犠牲と供え物をささげたか。
- 26 かえってあなたがたの王シクテをにない、あなたがたが自分で作ったあなたがたの偶像、星の神、キウンをになった。
- 27 それゆえわたしはあなたがたをダマスコのかなたに捕え移す」と、その名を万軍の神となえられる主は言われる。

第 6 章

- 「わざわいなるかな、安らかにシオンにいる者、また安心してサマリヤの山にいる者、諸国民のかしらのうちの著名な人々で、イスラエルの家がきて従う者よ。
- 2 カルネに渡って見よ。そこから大ハマテに行き、またベリシテびとのガテに下って見よ。彼らはこれらの国にまさっているか。彼らの土地はあなたがたの土地よりも大きい
- 3 あなたがたは災の日を遠ざけ、強暴の座を近づけている。
- 4 わざわいなるかな、みずから象牙の寝台に伏し、長いすの上に身を伸ばし、群れのうちから小羊を取り、牛舎のうちから子牛を取って食べ、
- 5 琴の音に合わせて歌い騒ぎ、ダビデのように楽器を造り出し、
- 6 鉢をもって酒を飲み、いとも尊い油を身にぬり、ヨセフの破滅を悲しまない者たちよ。
- 7 それゆえ今、彼らは捕われて、捕われ人のまっ先に立って行く。そしてかの身を伸ばした者どもの／騒ぎはやむであらう」。
- 8 主なる神はおのれによって誓われた、（万軍の神、主は言われる、）「わたしはヤコブの誇を忌みきらい、そのもろもろの宮殿を憎む。わたしはこの町とすべてその中にいる者を渡す」。
- 9 一つの家に十人の者が残っていても、彼らは死に、
- 10 そしてその親戚、すなわちこれを焼く者は、骨を家から運びだすために、これを取り上げ、またその家の奥にいる者に向かって、「まだあなたと共にいる者があるか」と言い、「ない」との答がある時、かの人または「声を出すな、主の名をとるな」と言うであらう。
- 11 見よ、主は命じて、大きな家を撃って、みじんとなし、小さな家を撃って、切れ切れとされる。
- 12 馬は岩の上を走るだろうか。人は牛で海を耕すだろうか。ところがあなたがたは公道

を毒に変じ、正義の実をにがよもぎに変じた。

13 あなたがたはロデバルを喜び、「われわれは自分の力でノカルナウムを得たではないか」と言う。

14 それゆえ、万軍の神、主は言われる、「イスラエルの家よ、見よ、わたしは一つの国民を起して、あなたがたに敵対させる。彼らはハマテの入口からアラバの川までノあなたがたを悩ます」。

第7章

主なる神はこのようにわたしに示された。見よ、二番草のはえ出る初めに主は、いなごを造られた。見よ、その二番草は王の刈った後に、はえたものである。

2 そのいなごが地の青草を食い尽した時、わたしは言った、「主なる神よ、どうぞ、ゆるしてください。ヤコブは小さい者です、どうして立つことができますよう」。

3 主はこのことについて思いかえされ、「このことは起さない」と主は言われた。

4 主なる神はこのようにわたしに示された。見よ、主なる神はさばきのために火を呼ばれた。火は大淵を焼き、また地を焼こうとした。

5 その時わたしは言った、「主なる神よ、どうぞ、やめてください。ヤコブは小さい者です、どうして立つことができますよう」。

6 主はこのことについて思いかえされ、「このこともまた起さない」と主なる神は言われた。

7 また主はわたしに示された。見よ、主は測りなわをもって築いた石がきの上に立ち、その手に測りなわをもっておられた。

8 そして主はわたしに言われた、「アモスよ、あなたは何を見るか」。「測りなわ」とわたしが答えると、主はまた言われた、「見よ、わたしは測りなわをノわが民イスラエルの中に置く。わたしはもはや彼らを見過ごしにしない。

9 イサクの高き所は荒され、イスラエルの聖所は荒れはてる。わたしはつるぎをもってノヤラベアムの家に立ち向かう」。

10 時にベテルの祭司アマジヤは、イスラエルの王ヤラベアムに人をつかわして言う、「イスラエルの家のただ中で、アモスはあなたにそむきました。この地は彼のもろもろの言葉に耐えることができません。

11 アモスはこのように言っています、『ヤラベアムはつるぎによって死ぬ、イスラエルは必ず捕えられて行って、その国を離れる』と」。

12 それからアマジヤはアモスに言った、「先見者よ、行ってユダの地にのがれ、かの地でパンを食べ、かの地で預言せよ。

13 しかしベテルでは二度と預言してはならない。ここは王の聖所、国の宮だから」。

14 アモスはアマジヤに答えた、「わたしは預言者でもなく、また預言者の子でもない。わたしは牧者である。わたしはいちじく桑の木を作る者である。

15 ところが主は群れに従っている所からわたしを取り、『行って、わが民イスラエルに預言せよ』と、主はわたしに言われた。

16 それゆえ今、主の言葉を聞け。あなたは言う、『イスラエルに向かって預言するな、イサクの家に向かって語るな』と。

17 それゆえ、主はこう言われる、『あなたの妻は町で遊女となり、あなたのむすこ、娘たちはつるぎに倒れ、あなたの地は測りなわで分かつれる。そしてあなたは汚れた地で死に、イスラエルは必ず捕えられて行って、その国を離れる』」。

第8章

主なる神は、このようにわたしに示された。見よ、ひとかごの夏のくだものがある。

² 主は言われた、「アモスよ、あなたは何を見るか」。わたしは「ひとかごの夏のくだもの」と答えた。すると主はわたしに言われた、「わが民イスラエルの終りがきた。わたしは再び彼らを見過ごしにしない。

³ その日には宮の歌は嘆きに変り、しかばねがおびただしく、人々は無言でこれを至る所に投げ捨てる」と主なる神は言われる。

⁴ あなたがた、貧しい者を踏みつけ、また国の乏しい者を滅ぼす者よ、これを聞け。

⁵ あなたがたは言う、「新月はいつ過ぎ去るだろう、そうしたら、われわれは穀物を売ろう。安息日はいつ過ぎ去るだろう、そうしたら、われわれは麦を売り出そう。われわれはエバを小さくし、シケルを大きくし、偽りのはかりをもって欺き、

⁶ 乏しい者を金で買い、貧しい者をくつ一足で買いとり、また、くず麦を売ろう」。

⁷ 主はヤコブの誇をさして誓われた、「わたしは必ず彼らのすべてのわざをいつまでも忘れない。

⁸ これがために地は震わないであろうか。地に住む者はみな嘆かないであろうか。地はみなナイル川のようにわきあがり、エジプトのナイル川のようにみなぎって、また沈まないであろうか」。

⁹ 主なる神は言われる、「その日には、わたしは真昼に太陽を沈ませ、白昼に地を暗くし、

¹⁰ あなたがたの祭を嘆きに変らせ、あなたがたの歌をことごとく悲しみの歌に変らせ、すべての人に荒布を腰にまとわせ、すべての人に髪をそり落させ、その日を、ひとり子を失った喪中のようにし、その終りを、苦い日のようにする」。

¹¹ 主なる神は言われる、「見よ、わたしがききんをこの国に送る日が来る、それはパンのききんではない、水にかわくでもない、主の言葉を聞くことのききんである。

¹² 彼らは海から海へさまよい歩き、主の言葉を求めて、こなたかなたへはせまわる、しかしこれを得ないであろう。

¹³ その日には美しいおとめも、若い男もかわきのために気を失う。

¹⁴ かのサマリヤのアシマをさして誓い、『ダンよ、あなたの神は生きている』と言い、また／『ベエルシバの道は生きている』と言う者どもは／必ず倒れる。再び起きあがることはない」。

第9章

わたしは祭壇のかたわらに立っておられる主を見た。主は言われた、「柱の頭を打って、敷居を震わせ、これを打ち砕いて、すべての民の頭の上に落ちかからせよ。その残った者を、わたしはつるぎで殺し、そのひとりも逃げおおす者はなく、のがれうる者はない。

² たとい彼らは陰府に掘り下っても、わたしの手はこれをそこから引き出す。たとい彼らは天によじのぼっても、わたしはそこからこれを引きおろす。

³ たとい彼らはカルメルの頂に隠れても、わたしはこれを捜して、そこから引き出す。たとい彼らはわたしの目をのがれて、海の底に隠れても、わたしはへびに命じて、その所でこれをかませる。

⁴ たとい彼らは捕われて、その敵の前に行っても、わたしはその所でつるぎに命じて、これを殺させる。わたしは彼らの上にわたしの目を注ぐ、それは災のためであって、幸のためではない」。

⁵ 万軍の神、主が地に触れられると、地は溶け、その中に住む者はみな嘆き、地はみなナイル川のようにわきあがり、エジプトのナイル川のようにまた沈む。

- ⁶ 主はご自分の高殿を天に築き、大空の基を地の上にすえ、海の水を呼んで、地のおもてに注がれる。その名は主となえられる。
- ⁷ 主は言われる、「イスラエルの子らよ、あなたがたはわたしにとって / エチオピアびとのようではないか。わたしはイスラエルをエジプトの国から、ペリシテびとをカフトルから、スリヤびとをキルから導き上ったではないか。
- ⁸ 見よ、主なる神の目は / この罪を犯した国の上に注がれている。わたしはこれを地のおもてから断ち滅ぼす。しかし、わたしはヤコブの家を / ことごとくは滅ぼさない」と主は言われる。
- ⁹ 「見よ、わたしは命じて、人がふるいで物をふるうように、わたしはイスラエルの家を万国民のうちでふるう。ひと粒も地に落ちることはない。
- ¹⁰ わが民の罪びと、すなわち / 『災はわれわれに近づかない、われわれに臨まない』と / 言う者どもはみな、つるぎで殺される。
- ¹¹ その日には、わたしはダビデの倒れた幕屋を興し、その破損を繕い、そのくずれた所を興し、これを昔の時のように建てる。
- ¹² これは彼らがエドムの残った者、およびわが名をもって呼ばれるすべての国民を / 所有するためである」と / この事をなされる主は言われる。
- ¹³ 主は言われる、「見よ、このような時が来る。その時には、耕す者は刈る者に相継ぎ、ぶどうを踏む者は種まく者に相継ぐ。もろもろの山にはうまい酒がしたたり、もろもろの丘は溶けて流れる。
- ¹⁴ わたしはわが民イスラエルの幸福をもとに返す。彼らは荒れた町々を建てて住み、ぶどう畑を作ってその酒を飲み、園を作ってその実を食べる。
- ¹⁵ わたしは彼らをその地に植えつける。彼らはわたしが与えた地から / 再び抜きとられることはない」と / あなたの神、主は言われる。

For other languages please go to www.wordproject.org